

熊本広域都市圏開発への姿勢

国道の整備、九州横断道路の開通、国鉄の電化複線化など交通網の充実とともに、熊本は九州における交通運輸の中心として認められ、さらに九州縦貫高速自動車道の建設が本格化した今日、地域開発における都市開発は重要な課題となってきた。

熊本市を中心とする広域都市圏の構想は、大規模地方開発都市福岡市と並んで、九州の中核都市として開発することにより、新産都市の建設とともに工業を進めさらに農業、観光など広く県内産業を近代化し、県計画の目標である“豊かな県民生活”の実現をはかろうとするものである。(本文参照)

下・交通網の整備も軌道にのって
(新熊本バイパス)



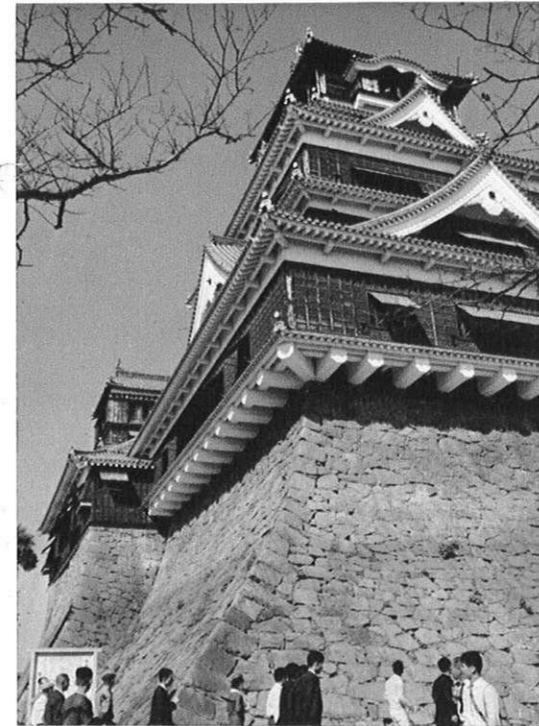
下・文化厚生福祉の充実にも力を入れている
(熊本市体育館)



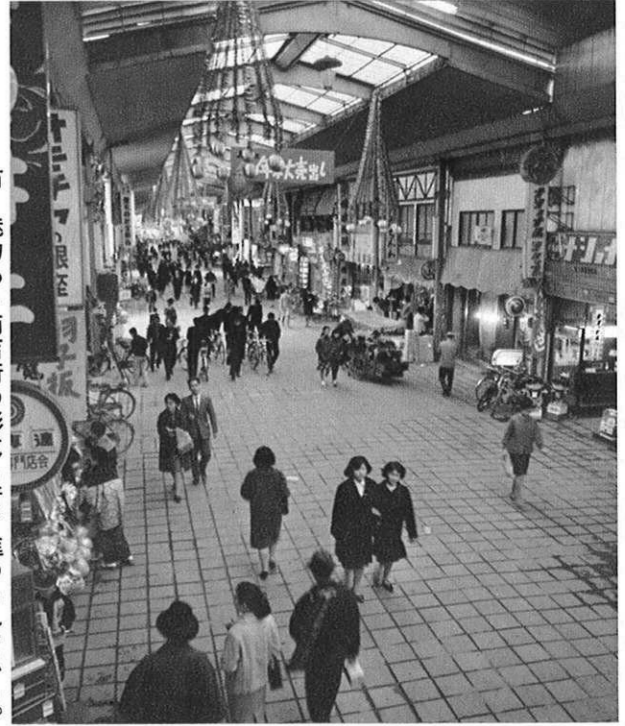
下・鹿児島本線の電化複線化も急ピッチに…



下・美しい城下町……城の周辺には官公庁や観光、商工関係のビルが立ちならぶ。



左・観光都市くまもとの代表はやはり熊本城である。



右・魅力ある商店街の形成も着々進められている。

下・戦災で全市街の姿を焼失したが戦災復興とともにめざましい発展をとげた熊本市(熊本市の中心街)

